



兵庫県立  
芸術文化センター

# 読売日響名曲シリーズ

管弦楽:読売日本交響楽団

Orchestra: Yomiuri Nippon Symphony Orchestra, Tokyo

2009

**9/17** 木 7:00p.m.開演  
(6:15p.m.開場)

兵庫県立芸術文化センター  
KOBELCO 大ホール

〒663-8204 兵庫県西宮市高松町2-22  
阪急西宮北口駅南改札口ロスク/ JR西宮駅より徒歩15分(阪急バス7分)

A¥5,000 B¥4,000 C¥3,000 D¥2,000 (全席指定/税込)

■ チケット取扱い 一般発売: 5月24日(日)

芸術文化センターチケットオフィス 0798-68-0255

(10:00am~5:00pm/月曜休み ※祝日の場合翌日)

芸術文化センター会員電話予約受付開始: 5月21日(木)

インターネット予約 <http://www.gcenter-hyogo.jp>

※窓口での販売(残席ある場合)は5月26日(火)より

フォルテ音楽事務所 06-6375-7431

(平日: 10:00am~6:00pm/土曜: 10:00am~1:00pm/※日・祝は休み)

電子チケットぴあ 0570-02-9999 (Pコード: 321-698)

ローソンチケット 0570-000-407 (オペレーター対応)

0570-084-005 (Lコード: 58479)

e+ (イープラス) <http://eplus.jp/> (パソコン&携帯電話)

■ お問い合わせ

芸術文化センターチケットオフィス 0798-68-0255

## 読売日響の「子どもの指定席」推奨コンサート

「子どもの指定席」は、多くの小学生・中学生・高校生の子どもたちにぜひ鑑賞していただきたい芸術性の高いコンサートを、読売日響主催公演の中から厳選し、低料金(¥1,000)で保護者の方とともに鑑賞していただくもので、音楽情操教育の一助になることを目的として設置したものです。そのため、お子様のみでのお申込みはできません。なお、保護者の方は一般料金となりますのでご注意ください。席数には限りがございますので、売り切れの際はご容赦ください。

◆「子どもの指定席」は、フォルテ音楽事務所のみで発売します。

◆「子どもの指定席」のお問合せ:

フォルテ音楽事務所 06-6375-7431



指揮

スタニスラフ・スクロヴァチェフスキ

(読売日響第8代常任指揮者)

Conductor: Stanislaw Skrowaczewski

バルトーク

管弦楽のための協奏曲

Bartók/ Concerto for Orchestra

ラヴェル

スペイン狂詩曲

Ravel/ Rapsodie Espagnole

ボレロ

Ravel/ Boléro



主催: 読売新聞社、読売テレビ、読売日本交響楽団、兵庫県、兵庫県立芸術文化センター

\*未就学児童のご入場はご遠慮ください。\*やむを得ない事情により、出演者、曲目等が変更となる場合があります。あらかじめご了承ください。

\*当公演は、読売テレビによる収録を予定しています。客席の一部にテレビカメラを設置いたします。あらかじめご了承ください。



# 創造の喜びを分かち合うステージと客席。

奥田 佳道 (音楽評論家)

名匠の妙技、意欲、覇気がオーケストラを、聴き手をその気にさせる。

高揚感あふれるライブが続く。喝采はコンサート毎に増えているかのよう。とにかく、すごいことになっている。

創立50周年(2012年)も視野に入ってきた読売日本交響楽団と、このオーケストラの常任指揮者スタニスラフ・スクロヴァチェフスキ(1923年生まれ)のコンビは今、東京の音楽シーンの華だ。

練達のキャリアを誇るスクロヴァチェフスキは今年10月で86歳になる。内外第一線のステージで活躍するマエストロとしては、間違いなく最高齢である。しかし、世界最高齢の常任指揮者という話題性に拍手喝采が贈られているわけではない。何よりも演奏が充実しているのだ。当初、今春までだったスクロヴァチェフスキの任期は好評さくさくにつき、来春まで延長された。

この人は枯れない。ウィーン古典派、ドイツ・ロマン派の交響曲やCDや数々のステージでも評判のブルックナーばかりでな

く、近現代の精緻な作品や大曲を嬉々として指揮し、公演ごとに、読売日響のメンバーと音楽ファンを鼓舞するのだ。ひと言で申せば、放射する。いつものオーケストラのレパートリーに、まだまだ表現上の魔境が存在することを教えてくれる。

羅列をお許しあれ。リヒャルト・シュトラウスの交響詩、バルトークの管弦楽曲、ショスタコーヴィチの交響曲、ストラヴィンスキーのバレエ音楽、それに近代フランス音楽の花束や自作!が彼の十八番だ。そんなスクロヴァチェフスキのタクトに導かれ、読売日響も持ち前の構えの大きな響きに磨きをかけている。読売日響はこの頃、実によく鳴るようになった。

秋の音楽シーズン到来を告げる《西宮公演》のプログラムは、9月15日に東京芸術劇場で行なわれる読売日響《芸劇名曲シリーズ》と同じである。鮮烈な響きと舞い、色彩と芳香、オーケストラ芸術の醍醐味を〈管弦楽のための協奏曲〉〈スペイン狂詩曲〉〈ボレロ〉を通じ、ご体感あれ。名曲の魅力、再発見の喜びを、ぜひ。

## スタニスラフ・スクロヴァチェフスキ (Stanislaw Skrowaczewski)

1923年、ポーランドのリヴォフ(現在はウクライナ領)に生まれる。

4歳でヴァイオリンとピアノを始め、7歳でオーケストラ曲を書き、11歳でピアニストとしてデビュー。13歳でベートーヴェンのピアノ協奏曲第3番を弾き振りするほどの神童だったが、第2次大戦中に負った手の傷が元でピアニストの道を断念。以降、作曲と指揮の勉強に向かった。

戦後ワルシャワ・フィルを指揮した際にフランス大使が感動したことが縁となり、奨学金を受けて2年間パリに留学。西側に出ることが困難だった時代に、パリで熱心に作曲を学んだ。

1940年代後半から本格的な指揮活動に入り、クラクフ・フィルやワルシャワ国立響などで音楽監督を歴任。58年にはクリーヴランド管を指揮してアメリカ・デビュー。ニューヨーク・フィル、ピッツバーグ響、シンシナティ響に客演している。

その後、1960年から20年近くにわたりミネソタ管弦楽団(旧ミネアポリス交響楽団、68年に改称)の音楽監督を務めた。ワルシャワ国立響と英・ハレ管弦楽団でも首席指揮者を務め、現在はミネソタ管の桂冠指揮者のほかザールブリュッケン・カイザー・スラウテルン・ドイツ放送フィルハーモニー管弦楽団の首席客演指揮者でもある。

読売日響とは、1978年に初共演して以来、2000年、02年、05年と演奏を重ね、05年末には「第9」も指揮。2007年4月、第8代常任指揮者に就任した。



©浦野俊之

## 読売日本交響楽団 (Yomiuri Nippon Symphony Orchestra, Tokyo)

読売日本交響楽団は1962年、日本のオーケストラ音楽の振興と普及のため読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビの読売グループ3社を母体に設立された。翌63年にはハチャトゥリアン指揮で公演、また65年にはブリテン(戦争クライエム)の日本初演など、設立当初から話題を呼んだ。歴代常任は若杉弘やレクナール世界的指揮者が歴任。現在、常任を巨匠スクロヴァチェフスキが、正指揮者を下野竜也がそれぞれ務めている。その他の指揮者陣は桂冠指揮者アルブレヒトをはじめ、名誉指揮者にザンデルリンク、マズア、ロジェストヴェンスキー、フリーベック・デ・ブルゴスが、名誉客演指揮者に尾高忠明が名を連ねている。10年4月にはシルヴァン・カンブルランをフランス人として初めての常任に迎え、さらなる飛躍を目指す。

創立以来、ストコフスキー、ヴァント、チェリビダッケ、マゼール、テミルカーノフといった世界的巨匠を招くとともに、ルービンシュタイン、リヒテル、アルゲリッチ、ヨーヨー・マ、五嶋みどりらの名ソリストと共演を重ねている。

新作委嘱にも積極的で、三善晃(アン・ソワ・ロワント)、武満徹(トゥール・バイトワイト)などの名曲を生んできた。01年以来、毎年新作を委嘱する「読売日響 委嘱シリーズ」を続け、作曲界の発展にも寄与している。

海外では、67年の北米公演をはじめ、71年から03年にかけて計6回、欧州各国で公演。96年にタイ、97年に中国(北京)を訪れている。81年にはライブツィヒ国際オーケストラ・フェスティバルに参加。00年にはスペイン・カナリア諸島音楽祭にアジア代表として招かれ、また日本のオーケストラとして初めてザルツブルク祝祭大劇場のシリーズに出演。

68年ペンデレツキ〈ルカ受難曲〉日本初演での芸術祭受賞をはじめ、00年グルリット〈ヴォツェック〉での芸術祭優秀賞、04年ヤナーチェク〈運命〉での佐川吉男賞など、受賞歴多数。最近では、08年の定期演奏会《下野竜也プロデュース・ヒンデミット・プログラムII》が芸術祭優秀賞に輝いた。

演奏会の様子はインターネットの「第2日本テレビ」で動画配信され、好評を得ている。

楽団ホームページ <http://yomikyo.or.jp/>



<http://www.gcenter-hyogo.jp>

兵庫県立芸術文化センター  
Hyogo Performing Arts Center

感動芸術の発信拠点。新しいタイプのパブリックシアターが、阪急西宮北口駅前に誕生!!

### 便利なアクセス!!

大阪・梅田からも神戸・三宮からもホールまで15分(阪急電車特急乗車の場合)

◎阪急 西宮北口駅 南改札口 スグ(連絡デッキで直結)

◎JR 西宮駅より徒歩15分(阪急バス7分)

※ご来場は、電車・バスなどの公共交通機関をご利用ください。

### 先行予約会員募集中!

詳しくは、<http://www.gcenter-hyogo.jp>

### アクセス

